

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会
ICT時代の文理融合研究を創出する可視化小委員会
(第25期・第3回)

議事要旨

日時： 令和3年12月13日(月) 18:05~20:10

会場： 遠隔会議(主催会場：立命館大学アート・リサーチセンター)

配付資料：

資料1：前回議事録要旨

資料2：公開シンポジウムプログラム

資料3： 科研費・学術変革領域(A) 領域計画書(申請書)

出席者(敬称略)：

田中覚(立命館大)、大倉典子(芝浦工大)、小山田耕二(京大)、安達基朗((株)シュールド設計)、
應矢泰紀(京都国際マンガミュージアム)、尾上洋介(日大)、加藤千恵子(東洋大)、北川千夏(サイ
バネットシステム(株))、坂野雄一(NICT)、坂本尚久(神戸大)、鹿内菜穂(亜大)、鈴木桂子(立命
館大)、長谷川恭子(立命館大)、宮地英生(東京都市大)、李亮(立命館大)、山口欧志(奈文研)

議事録要旨

(1) 前回議事要旨の承認について

- 前回議事録が承認された。

(2) 公開シンポジウム・科学的知見創出に資する新可視化技術に向けて(7) 総括

- 本委員会と同日に開催された公開シンポジウムについて、シンポジウム参加者を中心にその感想と意見交換がなされた。

(3) 調査報告(坂本尚久委員)

- 「多次元時系列データの視覚的解析」と題して、これまでの研究テーマとして、**Intelligent Visualization, Interactive Analytics, Immersive Exploration** について紹介された。さらに、現在の研究テーマとして、多次元時系列データ、テンソルデータ表現、次元削減を利用したテンソルデータ解析、スパコンログデータ解析、アンサンブルデータ解析について説明された。

(4) 分科会を中心とした、学術変革領域(A)の応募について

- これまでの小委員会の議論を踏まえて、科研費・学術変革領域(A)に可視化分科会の有志が応募し、その内容や経緯に関して報告された。
- 本小委員会は計画研究A02を担当し、A02-1は有形文化財(代表：田中覚)、A02-2は心の可視化、心と文化という観点で、舞踊/ダンス(代表：鹿内菜穂)がテーマになった。
- ヒアリングの結果を待たずに、計画研究の申請書の準備を進めていく。

(5) その他

- 小山田先生から大倉先生へ、可視化の活動について、課題別委員会への道筋に関して相談された。
- 次回の小委員会調査報告は鹿内菜穂委員が担当し、学術変革領域(A)のヒアリングに進んだ際には、田中覚委員と鹿内菜穂委員がそれに関する発表を行う。

以上